

校長室だより

<https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/jhs/maruyamadai/>

「公立高校共通選抜学力検査 3 日前」

校長 藤 至光

高校入試といえば『雪』というのが、私が中学生のころの定番気象条件でした。しかし、地球の温暖化が進み、横浜で雪が降り積もることも少なくなりました。私が小学生のころは、雪が積もると雪合戦やソリ遊びをするなどして遊んでいましたが、今ではそれも雪国へ行かなければなかなかできないと思うと、ちょっと寂しい気さえます。

『入試』、『雪』という思い出すことがあります・・・。

あれは、41年前(もうこんなになるのか・・・)の2月25日(だったと思うが・・・)忘れもしない公立高校の学力検査の日。

その日は、前日からの雨が夜中には雪に変わり、朝起きると当たり一面銀世界で10～20センチくらい積もる大雪となりました。実はその年、私立の入試も大雨となり、制服や靴下がびしょびしょで、靴下を履かずに試験を受けていました。しかし、面接試験ではそうはいかないだろうと思い、びしょびしょの靴下を履いて面接に臨んだ覚えがあります。

当時、うちの中学の先生たちは、口をそろえて「入試の日は天気が悪い」とか、「雪が降る」と言っていました。さて、当日の天気はどうなるのでしょうか？ 今日現在の週間天気予報では、15日の共通選抜学力検査の日の降水確率90%になっています。朝から雨が降ると、交通機関(特にバス)もダイヤが乱れるので、早めに家を出ることをお勧めします。

それでは、今から41年前のお話。

ウチの母は、『あんたには勉強を教えられないから、せめて縁起の悪いこと(たとえば、転ぶ、すべる、落ちるなど)を言わないようにするわ!!』と勝手なことを言って、年が明けて、しばらくするとそう自分で心に決めてしまいました。その後、母の言葉には、一切そのような言葉が出てくることはなく、心遣いがとても温かく感じられました。

入試前日は、いつもと同じような時間に夕食と入浴を済ませ、寝るまでゆっくりと過ごそうと心に決めていたので、その通りに過ごしました。明日の入試の準備を済ませ、ワイシャツや靴下もどれにするか決めていました。『用意はできた。あとは本番を

待つだけだ。でも、ちょっと確認を・・・』と、何を血迷ったのか突然問題を解き始めてしまったのです。しばらくすると、『アレーわかんない。』『ヤベー』となってしまったのでした。

不安になる⇒調べる⇒調べてもわからない⇒そしてアセるという悪循環。悩んだあげく、『こんな問題は出ない!』と勝手に決め込んで、ベッドに入りました。雪の降る静けさと時計のカチカチ音が妙にマッチしていたのを思い出します。

入試当日は確か6時少し前に起きました。顔を洗って、朝ごはん。

『雪はいやだねー』なんて母と会話しながら朝食をとりました。この日の朝も母は禁句を発しないようにとても気を遣っていたのがよく分かりました。

着替えをして『さあ、行こう!』と思い、自分の部屋を出ると、『お兄ちゃん頑張ってるね!』と、中1の妹が声をかけてくれました。いつもは遅いくせに、出発に合わせて早起きしてくれていたようでした。階段を降り台所の母に向かって『じゃ、行ってくるネー』というと、なんと母は、

『ああ、行っておいで、頑張ってるね!外は雪ですべるからころぶんじゃないよ!』と笑顔で言ってしまったのでした。

その後、「あ〜あ、言っちゃった……。せっかく気をつけていたのに……。」

母と息子は顔を見合わせてゲラゲラ笑っていました。

「大丈夫!これでリラックスできるよ。」と、息子は言い、もう一度「行って来ます。」と言って玄関のドアを閉めました。

雪で積もった歩道を歩きながら『朝っぱらから、縁起でもねーこと言ってんじゃねーよ!』と、思ったのは言うまでもありません。

こうして無事?!入試を終え、何とか志望校に合格することができました。もちろん、靴下は余分に持っていきました。

さあ、15日はいよいよ本番。「平常心 笑顔で合格 ゲットだぜ!!」

さて、3日後に迫った公立高校共通選抜学力検査ですが、泣いても笑ってもその日はやってきます。できることなら、全員が志望校に合格して欲しいのですが、こればかりは高校が選ぶわけですから、私の気持ちだけではどうしようもありません。倍率が1倍を越えている以上、誰かが悲しい思いをしなければならぬと考えると切なくなります。

以前、私のクラスの生徒で、試験直前にノートを開いて勉強したところから出題されたなんてことも聞きました。『最後の最後まであきらめずにやるのが大切なんだなあ』と、そのとき改めて思いました。『あと三日しか…』と考えるか、『まだ三日ある…』と考えるか思いはそれぞれですが、『まだ三日ある…』と考えることができるのであるならば、最後の頑張りはいくらでも大丈夫です。3月1日にとびっきりの笑顔で喜んでいる自分の姿を想像して、ラストスパートをかけましょう!学力検査が終わった瞬間に『やることはやった。あとは待つだけだ。』と思えるように。